

- 評価対象指標のうち、目標値を達成した指標は、全体の46.2%(6指標/13指標)であった。
- 目標未達成の指標は53.8%(7指標/13指標)であり、引き続き、達成率の向上を目指し取り組む必要がある。
- 目標値が設定されていないこと等により評価が「－」となっている2指標については、各年度の目標値の設定等により適切な進行管理及び評価の実施に努める。

達成状況まとめ

1 家庭における環境教育等

指標なし

4 職場における環境教育等

達成 : 0 評価なし(－) : 0
未達成 : 3

2 学校における環境教育等(再掲指標を除く)

達成 : 2 評価なし(－) : 1
未達成 : 0

5 各主体間の連携・協働(再掲指標を除く)

達成 : 0 評価なし(－) : 0
未達成 : 1

3 地域における環境教育等

達成 : 2 評価なし(－) : 1
未達成 : 2

6 福島県環境創造センター等を活用した環境教育等

達成 : 2 評価なし(－) : 0
未達成 : 1

1 家庭における環境教育等

指標なし

2 学校における環境教育等

達成状況 2/2 (「一」の指標を除く)

【達成】

- 「ふくしまゼロカーボン宣言」事業(学校版)参加校数 980校(目標値:R7 960校)
- 環境教育副読本を用いて学習を行った県内小学校の割合 78%(目標値:R7 55%)

【未達成】

なし

【評価なし ー】

- 「コミュニティ福島」を活用して環境学習を行った県内小学校の割合 56.1%(目標値:R12 100%)

3 地域における環境教育等

達成状況 2/4 (「一」の指標を除く)

【達成】

- 環境アドバイザー等派遣事業受講者数(累計) 35,239名(目標値:R7 35,200名)
- せせらぎスクール参加団体数、延べ参加者数(団体数) 47団体(目標値:R7 47団体)

【未達成】

- せせらぎスクール参加団体数、延べ参加者数(延べ参加者数) 延べ参加者数1,910名 (目標値:R7 延べ参加者数2,070名)
- 森林づくり意識醸成活動の参加者数 135,710名(目標値:R7 161,500名)

【評価なし ー】

- 猪苗代湖における水草回収ボランティア参加者数 2,596人(目標値:R12 12,000人)

未達成の指標の課題分析等

- せせらぎスクール参加団体数、延べ参加者数(延べ参加者数)
参加者数は目標値を下回ったものの、団体数は目標値を達成している。引き続き、せせらぎスクール実施団体への支援を継続するとともに、参加団体数増加に向け、積極的かつ幅広い広報を行う。また、指導者養成講座の積極的な周知活動を行い指導者数の増加にも努める。
- 森林づくり意識醸成活動の参加者数
令和7年度には酷暑などの異常気象のほか、熊出没が全国的に相次ぎ、森林での活動を敬遠する方々が増えたことから、目標値を下回った。平成30年度の全国植樹祭を契機に高まった森林づくり活動の機運を一過性にすることなく継続していくため、今後も森林づくり活動の支援を行い、更なる参加者の増大を図る。

4 職場における環境教育等 達成状況 0/3

【達成】

なし

【未達成】

- 「ふくしまゼロカーボン宣言」事業（事業所版）参加団体数 5,016事業所（目標値：R7 6,000事業所）
- 食べ残しゼロ協力店・事業所数（累計） 905店・事業所（目標値：R7 1,100店・事業所）
- 工場・事業場におけるリスクコミュニケーションの実施事業場数 244事業場（目標値：R7 340事業場）

未達成の指標の課題分析等

- 「ふくしまゼロカーボン宣言」事業（事業所版）参加団体数
参加団体数は目標を下回ったものの、多くの事業所が取り組みやすい制度設計とするとともに、「ふくしまカーボンニュートラル実現会議」等を通じて参加を呼びかけた結果、昨年度から着実に参加団体数が増加した。
引き続き関係機関への呼びかけ等を実施することにより、参加団体拡大に取り組んでいく。
- 食べ残しゼロ協力店・事業所数（累計）
目標値には届かなかったものの、令和7年度はコンビニやチェーン店等にアプローチした結果、新規に94件を認定した。
コロナ禍以降、事業所の廃業が目立っており、また、連絡のつかなくなった認定店について整理したことも、目標未達成の一因となっていると考えられる。
コンビニやチェーン店等については、認定件数の増加が期待できるので、引き続き働きかけを行っていく。
- 工場・事業場におけるリスクコミュニケーションの実施事業場数
工場・事業場等におけるリスクコミュニケーションの実施事業場数については、新型コロナウイルス感染症による事業活動の縮小等の影響により一度落ち込んだが、近年は増加傾向にある。引き続き企業向けセミナーでリスクコミュニケーションの重要性について周知するとともに、参加企業によるリスクコミュニケーション事例の紹介を通じて優良事例の共有を図り、リスクコミュニケーションの普及啓発に努める。

5 各主体間の連携・協働

達成状況 0/1

【達成】

なし

【未達成】

- 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定済の市町村数(累計) 41市町村(目標値:R7 59市町村)

未達成の指標の課題分析等

- 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定済の市町村数

地球温暖化対策実行計画(区域施策編)策定済の市町村数(累計)については、市町村のマンパワー不足やノウハウ不足等の理由により、計画策定が進まず、目標を達成しなかったが、ふくしまカーボンニュートラル実現会議市町村部会において、計画策定の重要性の説明や他市町村の事例紹介を行うほか、計画策定のためのアドバイザーの派遣を行うなど、市町村への伴走支援を行い、令和6年度の実績値(34市町村)から着実に増加している。こうした動きもあり、市町村による計画策定の意向も示されているところ、引き続き市町村に寄り添いながら、計画策定が進むよう支援していく。

6 福島県環境創造センター等を活用した環境教育等

達成状況 2/3

【達成】

- 福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」利用者数 96,781人(目標値:R7 80,000人)
- アクアマリンふくしま入館者数 639,571人(目標値:R7 500,000人)

【未達成】

- 東日本大震災・原子力災害伝承館入館者数 92,601人(目標値:R7 96,000人)

未達成の指標の課題分析等

- 東日本大震災・原子力災害伝承館入館者数

- 東日本大震災・原子力災害伝承館入館者数

目標値には達しなかったものの、前年から6,050名増加し、開館以来2番目の来館者数となった。増加した要因は、カムチャツカ半島沖地震に伴う津波注意報・警報が発令されたことや「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が初めて発令されたことで、自然災害への関心が高まり、伝承館で災害や防災について学びたいという方の来館につながったと考えられる。

引き続き、展示内容や企画展、研究事業の成果を踏まえた研修プログラムの充実を図り、来館者数の増加に努めていく必要がある。